

ザーラ・イマーエフ スピーキング・ツアー 2013
旅する対話 東京編 Part2

緊急イベント フクシマから「ただいま」 再生への希望

日時： 2013年3月19日 19:00-22:00

場所： 「Space&Cafe ポレポレ坐」東京都中野区東中野 4-4-1 ポレポレ坐ビル 1F (東中野駅前)

会費： 1,500円 (ワンドリンクつき)

チェチェンの女性映像作家・国際アートセラピーセンター「DiDi」の創立者であり
今も一人のディアスポラ（離散者）を生きる ザーラ・イマーエフの旅は続いている
3月8-10日 会津若松 福島県立博物館で開催の 日本映像民俗学の会福島大会に参加
2月20日の日本到着以来 東京滞在中も 九州への旅の中でも 不眠不休で仕上げを続けた
最新作「わたしの名はエラザ」22分を特別上映

3月11日を大震災 津波 原発事故からの再生を模索する町 南相馬で迎える
今日は 東京に戻ったザーラと 再生への希望を 作品初公開と共に 分かち合おう

上映作品：

「いって・らっしゃい」56分 ザーラ・イマーエフ・岡田一男作品 2004年/2012年

二人のディアスポラ、ザーラ・イマーエフ（チェチェン人）と姜信子（在日3世韓国人）が
同族たちが 民族まるごとの強制移住を生き抜いた カザフスタンの荒野を旅し 再生への希望を探る

「わたしの名はエラザ」22分 ザーラ・イマーエフ作品・岡田一男制作 2013年

世界のある町の多感な16歳の少女エラザ その胸中はザーラの心象の反映

戦争難民の子どもたちのトラウマのケアから始まった アートセラピー運動体「DiDi」が
健常者と障がい者のボーダーレス化を目指す中で辿りついた境地を描き出す 最後の種明かしに注目！

コメントと質問： 岡田秀則（国立近代美術館フィルムセンター）

コメントと質問： かん澤沙織（福島避難母子の会 in 関東）

主催： チェチェンの子どもたち日本委員会(=JCCC 共同代表:岡田一男・姜信子・林克明)

後援： チェチェン連絡会議 (CLC) 東京シネマ新社

会場では 作家 姜信子との共著「旅する対話 ディアスポラ・戦争・再生」
春風社刊 「春になったら」 「いって・らっしゃい」 「私たちのDiDi」3作品を同梱

定価1,890円を販売 本の予約は info@chechen.jp

緊急イベントなので 細部の変更が多々あることを お許しください

最新情報はチェチェン連絡会議公式サイト カフカス・ポータル <http://chechen.jp>/

問い合わせ： info@chechen.jp

Ver.2013.3.12.e